㈱ 損害保険ジャパン、 ㈱ 損保ジャパン・リスクマネジメント共催

企業リスクマネジメントセミナーのご案内

中国PL（製造物責任）法の実務と企業の対策

拝啓　時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

弊社業務につきましては、毎々格別のご高配に賜り、厚くお礼申し上げます。
弊社では、中国に進出されている又は進出予定の日系企業の皆様に対して、グループの総力を挙げて、各種のリスクマネジメントサービスをご提供しております。
この一貫として、中国のＰＬＰコンサルティングに豊富な経験を有する、森・濱田松本法律事務所の張弁護士をお招きし、「中国PL法の実務と企業の対応セミナー」を企画いたしました。

中国においても、PLクレームは増加しており、その意識が高まっております。貴社のリスクマネジメントに少しでもお役に立てば幸いでございます。ご多忙とは存じますが、是非、ご参加頂きたく、案内申し上げます。

末筆ながら、貴社の益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

敬　具

開催日時	２００４年１１月４日（木） 午後１時３０分～午後４時３０分
開催場所	中央大学 駿河台記念館
定　　員	１５０名（先着順）
参 加 費	無　料

株式会社 損害保険ジャパン

セミナー・プログラム

●受　　付：１３：００～　●開　　会：１３：３０～

『中国PL法の実務と企業の対応』

［１３：４０～１６：００］（●休 憩：１５：１０～１５：２５）

講師　森・濱田松本法律事務所 弁護士　　張 和伏

下記の項目に沿って説明いただきます。

１．中国におけるＰＬ紛争の実態
２．クレーム提起の原因
３．日本企業が訴えられる原因
４．ＰＬ紛争を扱う機関
５．消費者との紛争に関する法律
６．製品品質法の要点
７．三包責任
８．クレームの対応
９．事実の調査
１０．挙証責任
１１．鑑定
１２．和解
１３．訴状の送達
１４．裁判及びその対応
１５．マスコミ対策
１６．今後の動向

『中国関連の当社のＰＬコンサルティング活動』

［１６：００～１６：３０］

講師　損保ジャパン・リスクマネジメント
リスクエンジニアリング事業部 部長　新井 克

　ますます拡大する中国向けビジネスにおいて、企業のリスクマネジメント上、ＰＬ予防対策は「転ばぬ先の杖」として、その重要性は高まっています。ここでは中国向け製品の「製品安全対策」や、「取扱説明書・警告ラベル・販売パンフレットなどの表示対策」について、当社のＰＬコンサルティングを利用するメリット、法律事務所との連携について説明いたします。

セミナーの講師プロフィール（講演順）

張 和伏　（チョウ ワフク）＜ 森・濱田松本法律事務所 弁護士 ＞

１９８３年 中国政法大学法学部卒業
１９８６年 中国政法大学大学院民商法学科卒業
１９８７年 中国律師資格取得
１９８７年 中国中諮律師事務所で執務
１９９６年より森綜合法律事務所（現／森・濱田松本法律事務所）において執務、現在に至る
１９９７年 外国法事務弁護士登録

主な著書
『中国経済六法 ２００３年版』日本国際貿易促進協会 ２００２年刊
『中国ビジネス法必携』ジェトロ ２００３年刊
『法律談話室 中国の消費者問題（１）～（１５）』国際貿易No.１５７８～１６１７
『日中貿易投資の紛争対応システム　アンチダンピング・セーフガード編』日本機械輸出組合 ２００３年刊
『中国経済六法 ２００４年増補版』日本国際貿易促進協会 ２００３年刊
『中国ビジネスの紛争対応システム』商事法務 ２００４年刊

新井 克　＜ 株式会社 損保ジャパン・リスクマネジメント　リスクエンジニアリング事業部 部長 ＞

１９７２年　東京理科大学工学部電気工学科卒業　安田火災入社
１９８４～２００３年（財）日本科学技術連盟ﾌﾟﾛﾀﾞｸﾄ・ｾｲﾌﾃｨ研究会ＰＬ法令・判例研究部会指導員
１９９４～１９９７年 中小企業事業団の委嘱を受け中小企業ＰＬ対策専門員
１９９４年　厚生省生活衛生局の「食品用合成樹脂容器の安全性研究会」の委員
１９９６～１９９７年 「東京都消費者保護条例の警告表示検討委員会」の委員
２０００～２００１年 「機械の危険情報開示に関する調査研究委員会」の委員
２０００～２００３年 製品評価技術基盤機構の「ＰＬ事故原因技術解析ﾜｰｷﾝｸﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ」の委員
２００１～２００２年 製品安全協会の「製品リコールガイドライン検討委員会」の委員

主な著書
　共著に『製造物責任対策（有斐閣）』『製造物責任（有斐閣）』
　『ＰＬ＝製造物責任（講談社）』『事例が語る米国ＰＬ訴訟（保険毎日新聞社）』
　『製造物責任と製品安全（日科技連）』、その他に雑誌・学会投稿多数

お問い合せ先

（株）損保ジャパン・リスクマネジメント
お問い合せおよび申込受付担当窓口　　青木（スタッフ）
Tel　03 (3349)4309　Fax　03 (3349) 4677

中国PL法対策セミナー 参加申込書

- 参加ご希望の方は、こちらの申込書に必要事項をご記入の上、下記セミナー事務局宛で １０月２９日（金）迄に、ＦＡＸをご送付下さい。
- 各会場、原則一企業２名様までとし、定員となり次第、締め切りとさせていただきます。
  締切状況は、弊社ホームページ（http://www.sjrm.co.jp）「セミナー案内」でご確認下さい。
- 折り返し受講票をＦＡＸで送付致します。

＜参加申込書送付先＞ ＦＡＸ：０３－３３４９－４６７７

損保ジャパン・リスクマネジメント セミナー事務局（PLグループ） 行

申込日	月　　日
会社名	
所在地	〒
ＴＥＬ	
ＦＡＸ	

ふりがな 参加者氏名	
所属／役職名	
Ｅメール	

ふりがな 参加者氏名	
所属／役職名	
Ｅメール	

☆今回のセミナー情報は、どちらから？
１．新聞　２．ＤＭ　３．ホームページ　４．損保ｼﾞｬﾊﾟﾝ営業　５．損保ｼﾞｬﾊﾟﾝ･ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ
６．ＳＪＲクラブ　７．その他

会場

中央大学 駿河台記念館 ３７０号室
千代田区神田駿河台３－１１－５
TEL ０３（３２９２）３１１１

交通：ＪＲお茶の水駅 徒歩３分、
地下鉄 千代田線新御茶ノ水駅Ｂ１番出口徒歩５分